

オプトアウト用公開文書

【研究名称】

A 病院における精神疾患合併妊婦の産後の EPDS 増悪因子について
－増悪因子から考えられる助産師の役割－

1. 研究の対象

2022 年 1 月から 2023 年 12 月までに当院で妊婦健診から分娩まで行った方

2. 研究目的・方法

我が国では、周産期死亡の原因として自殺が多く、産後うつ病などを有している方が多くを占めています。精神疾患がある妊婦さんは産後うつ病を発症するリスクが高いといわれています。産後うつ病は母体だけではなく、子どもの発達や母子関係にも影響を及ぼすことがあり、それを予防するためには妊娠早期から適切な援助が受けられる体制が必要とされています。本研究では、精神疾患がある妊婦さんに対して、早期から様々な職種による支援を行い、妊娠期から産褥期まで絶え間ないサポートを提供することを目的としています。精神疾患がある妊婦さんの妊娠期と産後の EPDS*の点数と妊娠・出産や心理・社会的要因、環境要因などから、産後の EPDS*悪化に関連する内容を明らかにしたいと考えています。カルテから基本属性のデータを集計し、EPDS*の点数との関連について分析を行います。

*EPDS（エジンバラ産後うつ病質問票：Edinburgh Postnatal Depression Scale）

イギリスの精神科医により、産後うつ病のスクリーニングを目的として作られた 10 項目の質問票です。

3. 研究に用いる情報の種類

カルテから以下に関するデータを収集させていただきます。

年齢、妊娠出産歴、出産日、EPDS の点数(妊娠中、産後)、精神疾患の病歴、精神疾患に関する内服薬の有無、妊婦リスクチェックシート項目（生活要因、妊娠/出産要因、心理的要因、社会/経済的要因、環境要因（サポート状況等）

4. 研究実施期間

2024 年 9 月 17 日～2025 年 3 月 31 日

5. その他

本研究に関するご質問等ありましたら下記の相談窓口までお問い合わせください。ご希望があれば、ほかの研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができます。個人を特定できる情報（患者氏名・カルテ番号）については匿名化されておりますが、あなたの情報を研究に利用する事を希望されない場合、下記連絡先へご連絡くださればあなたの情報の利用を停止いたします。情報利用に同意されなくても、あなたに不利益を被ることはありませんのでご安心ください。

連絡先：〒589-8511 大阪狭山市大野東 377-2

電話：072-366-0221 内線 2235

研究責任者：近畿大学病院 看護部 福和直美